

図書館へ行こう

—暮らしのなかに図書館を—

開館時間 10:00~18:00
 ■愛知川図書館 (☎0749-42-4114 FAX0749-42-8484)
 休館日 月・火・祝日・月末水曜日
 ■秦荘図書館 (☎0749-37-4345 FAX0749-37-4309)
 休館日 木・金・祝日・第1水曜日
 ホームページアドレス
<https://www.town.aisho.shiga.jp/toshokan/index.html>

紅葉狩り

ポケット版 紅葉のきれいな樹木図鑑

亀田 龍吉/著
家の光協会

モミジやイチョウは秋の落葉前にいっせいに色づいて野や山、街路を彩ります。この図鑑では樹木ごとに紅葉の見どころや特徴がわかりやすく解説されています。



秋も深まるこの季節。色とりどりの美しい紅葉で心を癒されてみませんか？

今すぐ使えるかんたんmini 桜と紅葉撮影ハンドブック

萩原史郎+ナイスク/著
技術評論社

桜と紅葉を撮影するための準備から基本、応用、そしてプロが実践しているテクニックを紹介。付録には紅葉の色づきマップや撮影スポットなどのうれしい情報も満載です。



まちじゅう読書のレー

第5回 愛知中学校校長
大角 義典 先生

愛荘町のいろいろな人がおすすめる本を紹介し、まちじゅう読書を盛り上げます。

『高所恐怖症の僕が山に登る。』北村圭三 著 神戸新聞総合出版センター
 本校卒業生の北村 圭三さん(神戸女学院大学名誉教授)が、40年にわたる自身の山登りの記録としてまとめた自叙伝風エッセイです。登山の際の様々な経験を、カウンセリングにおけるクライアントとカウンセラーとの関係、学生と教育者との関係、子どもと親との関係などに重ね、読みやすく綴っています。

図書館からのお知らせ

古文書をよむ会

日時 11月10日(金) 14:00~15:00
 11月19日(日) 10:30~11:30
 場所 愛知川図書館
 対象 どなたでもご参加いただけます

愛知川図書館 おはなし会

日時 11月25日(土) 14:30~15:00
 場所 愛知川図書館
 対象 3歳くらいからのお子さんご家族

あたまいきいき音読教室

日時 11月21日(火) 1回目 10:30~11:15
 2回目 13:30~14:15
 場所 秦荘図書館
 対象 どなたでもご参加いただけます

おひざでだっこのおはなしかい

日時 11月6日(月) 10:30~11:00
 場所 秦荘図書館
 日時 11月12日(日) 11:00~11:30
 場所 愛知川図書館
 対象 2歳くらいまでのお子さんご家族

オーダーメイドおはなしかい

場所 秦荘図書館
 お子さんに合わせたおはなしのプログラムを用意します。
 開催日時と詳細は、秦荘図書館へお問い合わせください。

くまさんといっしょのえほんのじかん

日時 11月18日(土) 10:30~11:00
 場所 秦荘図書館
 対象 3歳くらいからのお子さんご家族

愛荘町は読書のまち「愛荘町まちじゅう読書の宣言」

人推協だより ほっと・あい 第210号

愛荘町人権教育推進協議会
 問 (事務局) 教育委員会生涯学習課内(秦荘庁舎)
 ☎0749-37-8055 FAX0749-37-4192

地域づくりと人権 ～共に支えあう地域づくりを目指して～

愛荘町も他の市町と同様に様々な地域ごとの課題があります。

例えば、「少子高齢化により、次の地域の担い手が減っている」「自治会への新規加入がないことから、自治会運営が難しくなっている」「住民の転出・転入が激しくまとめにくい」「地域課題は気になるが、どうすればよいか困っている」「外国籍住民の増加により、多文化共生の必要性を感じている」等です。

これらの課題は、人と人とのつながりの希薄化が顕在化・深刻化しつつあることを意味しているのではないのでしょうか。

また、介護・育児・家事の時間割合は、男性より女性の割合が高くなっています。昨年度実施した人権に関する町民意識調査では、家庭生活の場面で人権侵害を受けたという回答が、男性より女性の方が高いという結果が出ています。この結果は、介護・育児・家事の主な負担が女性にかかっていることも一つの要因ではないでしょうか(図1, 2参照)。

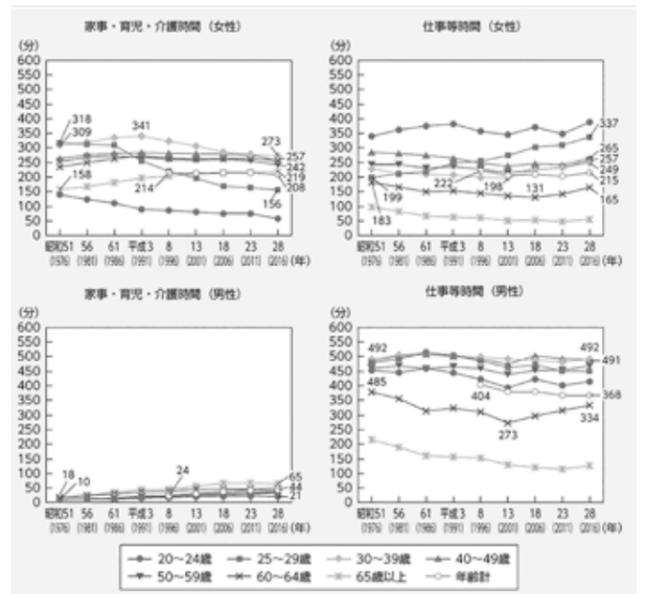
また、昨年度実施した人権に関する町民意識調査では、コミュニケーションが苦手な人が2~3割いる状況であり(図3参照)、社会認識・人間認識を高める場や機会が不足していることから、自分で考え行動する力が身につけていないように感じられます。

次世代の担い手育成に向けて、子ども達の主体的な地域貢献・地域参画の実践など、地域や家庭、学校で子ども達にどのような意識付けが必要なのかを考えて、行動していかないと、地域コミュニティが成り立たなくなることが予想されます。

これらのことについて、地域が協働で議論し戦略を練ってみることも必要ではないのでしょうか。

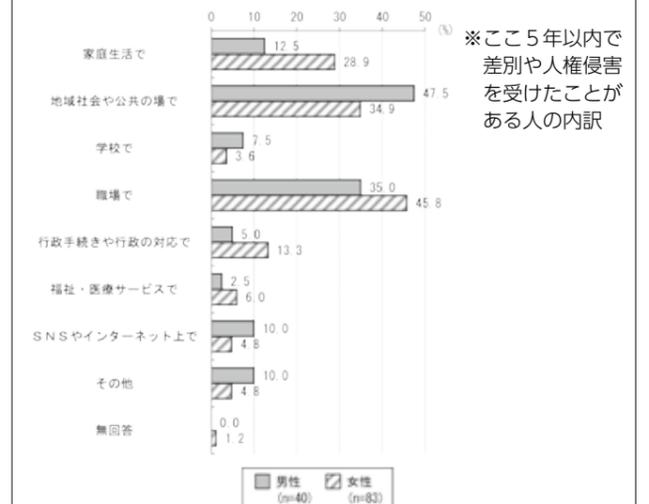
今年は、コロナも5類になったことから、地域事業の再開等をされる所も増加してきました。人権への配慮をはじめ、様々な地域課題や地域の在り方をその地域に住む人々が互いを意識し、「自助」「共助」「公助」の地域バランスのあり方等、地域で必要不可欠な課題を話し合っ地域づくりの第一歩にしてみませんか。

【図1 男女別に見た家事・育児・介護時間と仕事等時間の推移】



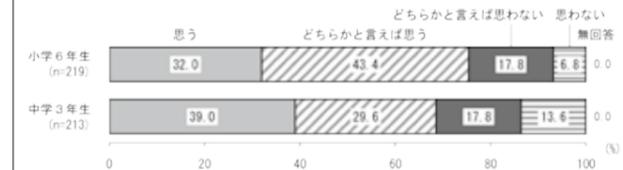
出典：令和2年版男女共同参画白書 【内閣府】

【図2 人権侵害を受けた場面】



出典：令和4年度 人権に関する町民意識調査 報告書

【図3 だれとでも話ができるか】



出典：令和4年度 人権に関する町民意識調査 報告書